

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	消防用小型動力ポンプ等整備事業	八代市	8,400,000	8,400,000	総事業費 15,584,400

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	消防用小型動力ポンプ等整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		八代市	
交付金事業実施場所		八代市内一円	
交付金事業の概要	<p>住民の防災意識の普及・啓発、消防団の活動の円滑化を図り、災害による被害最小化を目指すため、老朽化した消防用小型動力ポンプ・消火栓屋外ホース格納箱の更新及び熊本地震の教訓による備品の備蓄を平成28年度から計画的に行っています。今年度も引き続き、消防団の活動の円滑化等のため、小型動力ポンプや消火栓屋外ホース格納箱等の更新に交付金を充当します。</p> <p>○消防用小型動力ポンプ等一式 購入物件：小型動力ポンプ(B3級)他一式、数量：5台</p> <p>○屋外消火栓ホース等格納箱一式 購入物件：屋外用格納箱(ステンレス製)他一式、数量：8台</p> <p>○防災備蓄品一式 購入物件：発電器他、数量：3ヶ所へ配備</p>		
総事業費	15,584,400	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	8,400,000 8,400,000
交付金事業の成果目標	地域住民の安心安全の確保を促進することにより地域福祉の向上と発電用施設運転の円滑化に資することを目的とします。		
交付金事業の成果指標	自主防災組織率 平成23年度 75.5% → 平成29年度 80%以上 住民参加型防災訓練 平成23年度 2校区/年 → 平成29年度 3校区/年 防災備蓄倉庫(備蓄品)の配備充足率 平成23年度 92.6% → 平成29年度 100%		

<p>交付金事業の成果及び評価</p>	<p>交付金を活用し、計画通り消防用小型動力ポンプ、屋外用消火栓ホース等格納箱、防災備蓄備品を整備しました。</p> <p>消防団小型動力ポンプは、耐用年数を大幅に経過し、エンジンの始動が困難になる場合が増えるなど、万が一の緊急時に不安がありました。消火栓屋外ホース等格納箱は、初期消火のため新設または改修等の必要性が高く、地域住民からの要望が強いものでした。今回の消防団小型動力ポンプの更新及び消火栓屋外ホース等格納箱の整備により、防火資機材の充実が図られ、消火能力の点でも向上したことから、地域住民の火災や災害に対する不安を解消することができました。</p> <p>避難所となっている公共施設等の防災備蓄倉庫において、今回備蓄資機材等を配備することにより、水害や震災等大規模災害の際、避難してくる被災者への一時的な生活援助が可能となりました。また、災害による停電等の際には、発電機、ハロゲンライトの使用もスムーズにでき、どのような災害においても、避難所での対応が迅速にできるものであることから、地域住民の災害応急に対する不安を解消することができました。</p> <p>【自主防災組織率】 H29年度末現在 85%結成 216団体 【住民参加型防災訓練】 平成29年度 3校区実施済み 【防災備蓄倉庫】(備蓄品) 平成29年度末 備蓄倉庫37箇所 → 34箇所 整備済み (発電機・投光器・電源ドラム等) ※H29年度、3箇所備蓄倉庫を新設したため、この3箇所については備蓄品の整備が必要</p>
---------------------	--

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	消防施設整備	指名競争入札	日本乾溜工業株式会社八代出張所	11,394,000
	消防施設整備	指名競争入札	株式会社ホリタシステム	1,360,800
	消防施設整備	指名競争入札	日本乾溜工業株式会社八代出張所	2,829,600
	計			15,584,400
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無			交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当無し